

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)		訪問国	フィリピン	
学校名	静岡県立静岡城北高等学校	氏名	磯部さつき	学年	2

1. 応募理由

私は高校入学当初から、学校の探究活動を通して自己肯定感に興味を持つようになりました。日本人は自己肯定感が低いといわれていることに目を向け、他人の評価ではなく『自分自身に満足する』＝自己肯定感の高い状態であることが重要であると考えました。また、調べていく中でギャルマインドに出会い、明るく自他を肯定する考え方に惹かれました。インタビューやイベントを通して、理想的なマインドの在り方であると考えようになりました。そこから、「静岡をアゲな街」という目標を掲げ、まずは自己肯定感が高い国で人々のマインドを知りたいと思い、トビタテに応募することを決めました。

2. 活動内容

主な活動内容はインタビュー活動、語学学校、孤児院の訪問、ダンスレッスンの受講でした。インタビュー活動では、現地の人々にフィリピン人のマインドについてお聞きしました。一番驚いたことは、あなたはポジティブですか？という質問に対して90%の人がはいと答えたことです。日本でアンケートをとった時は50%程度だったためポジティブな国といわれていることが本当なのだと実感しました。また、自分をどのくらい愛しているかという質問に対しても100%愛していると答える人が8割以上で自己愛の高さにも驚きました。



スラム街を訪れた際、子どもたちの笑顔に触れ、胸が温くなりました。フィリピンでは貧困が深刻な社会問題であることを事前に学んでいましたが、実際に現地を訪れると、厳しい生活環境の中でもエネルギーに満ちた子どもたちの姿が強く印象に残りました。もちろん経済的な格差や生活の厳しさが解決されたわけではありませんが、限られた環境の中でも人とのつながりや日常を大切にしながら生きる姿から、精神的な豊かさについて考えさせられました。今回の経験を通して、物質

的な豊かさだけでは測れない幸福のあり方があることを学んだと感じています。

語学学校では、英語力の向上だけでなく様々な国の人や素敵な先生と出会うことができました。また、学校でおこなわれるイベントにも参加し交流を深め、充実した時間となりました。英語が伝わることの喜びや楽しさを日々実感し、もっと頑張ろうと英語学習を前向きに捉える大きなきっかけとなりました。



この留学では海外でダンスレッスンを受けるという一つの夢も実現することができました。日本のダンススタジオとは異なる穏やかな雰囲気の中で楽しみながら学ぶことができました。また日本人の Anya さんが運営する孤児院の Anya's HOME では、子どもたちにダンスを教える機会をいただきました。指導する立場になることは初めての経験でしたが、子どもたちが笑顔で踊る姿を見て、大きな喜びを感じました。Anya さんへのインタビューを通して、現地が抱える課題や支援の現状についてリアルな声を聞き、高校生である私にもできることが多くあると実感しました。

3. 今後の展望

今回の留学のテーマでもあった「静岡をアゲなまちに」するという目標を、今後実現していきたいと考えています。その第一歩として、私の学校で生徒の自己肯定感を高めるために、カジュアルウィークを実施することが私の夢です。この留学を通して、叶えたいことや目標が明確になり、進路や人生にも影響を与える大きな機会となりました。

